

さぽせんあいかわ

発行 あいかわ町民活動サポートセンター運営委員会
所在地 愛川町角田 251 番地 1
電話 046-205-1323 FAX 046-205-1324
E-mail ai-saposen@bz01.plala.or.jp
URL <http://www.town.aikawa.kanagawa.jp/saposen/index.html>



第11号

平成24年
10月15日発行

★来て！見て！知って！町民活動★

登録団体PRコーナー in ふるさとまつり

昨年、盛況でありました「登録団体 PR コーナー」を今年もふるさとまつりに出展します！
さまざまな分野で活躍されている、登録団体の活動を知る良い機会です。
皆さん奮ってお立ち寄りください！なお、今年は新保健センター建設の関係により、役場来庁者駐車場（屋外テント）とサポートセンター内で開催します。

日時：10月28日（日） 10：00～

場所：役場来庁者駐車場

及びサポートセンター内



愛川町観光キャラクター

あいちゃん

いろいろな団体が参加するから、多くの団体とつながれるよ♪
ぜひ来てね☆

実施内容

① 今年が目玉企画（サポートセンター内）

愛川町の昔なつかしい風景をスライドショーでご覧いただきます！郷土写真家による解説もありますので、ぜひご来場ください！

② パネル展示（サポートセンター内）

サポートセンター室内に各登録団体が作成したオリジナルティ溢れるパネルを展示し、活動内容を紹介します。

③ 体験型イベント（役場来庁者駐車場）

登録団体の活動内容を体験できるイベントや各種販売などをおこないます。

④ スライドショー（サポートセンター内）

各団体から提供していただいた写真をスライドショーにし、サポートセンター室内において50インチのテレビで放映します。



<体験型イベントの様子>



<スライドショーの様子>

福祉についての懇談会を開催します。

障がいのある方の支援や高齢者の余暇活動、子育て中のお母さん方のコミュニティづくりなど、さまざまなジャンルで活動されている「福祉」の分野。

現在、サポセンには24団体が登録されており、各々がとても熱心に活動されています。この度、各団体の活動で課題となっていること又は活動の推進に関することなどについて、他の福祉団体と気軽に情報や意見交換の場として懇談会を計画しています。この懇談会が、各団体の新たな活動への一助となり、また団体間の連携の強化が図られるなど、更なる住民活動の充実に繋がればと考えています。



<昨年の様子>

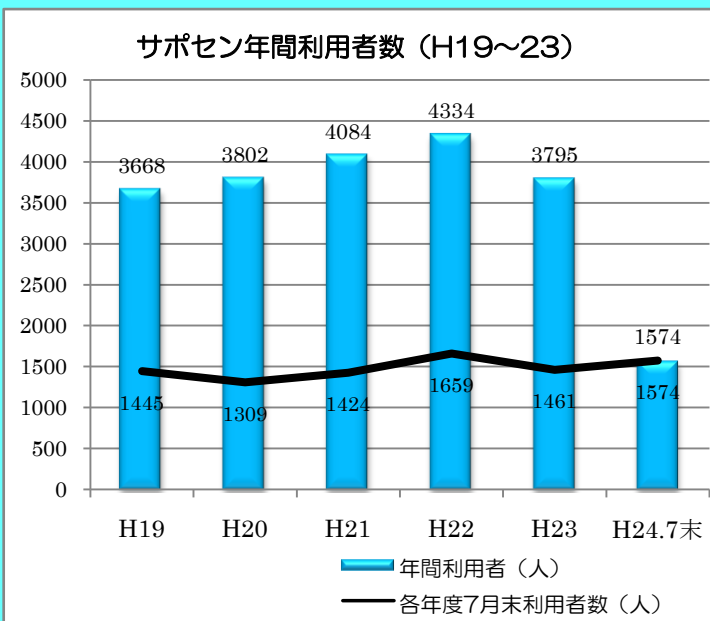


日時：11月28日（水） 13：30～
場所：町民活動サポートセンター

サポセン利用者の推移状況

サポセンは、平成19年3月の開所以来、早くも5年が経ちました。この5年間の間に、登録団体は126団体に増え、また、サポセンについての周知が図られたこともあって、利用者は年々増加傾向となり、平成22年度には、延べ4,334人の方の利用がありました。

しかし、昨年春に起きた東日本大震災による節電対策として開所時間を短縮したことなどから、平成23年度は利用者が減少となりましたが、今年度は7月末時点において、利用者が増加の傾向に転じています。



サポセンの利用に関するアンケート結果

平成24年2月に、登録団体に対し、サポセンの利用に関するアンケートを実施しました。回答いただいた団体は、62団体で、回収率としては51.2%でした。

アンケートでは、サポセンを利用したことがない団体が全体の25%もあることや、サポセンのホームページを見たことがない団体が全体の半分以上となっていることなどがわかりました。

この結果等を踏まえ、先般、サポセンのホームページを見やすく、また多くの情報を発信できるようにリニューアルを行いました。今後におきましても、さらに多くの登録団体がサポセンを活用していただける運営を目指し、改善に努めてまいります。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。



協働を進めるための新たな制度

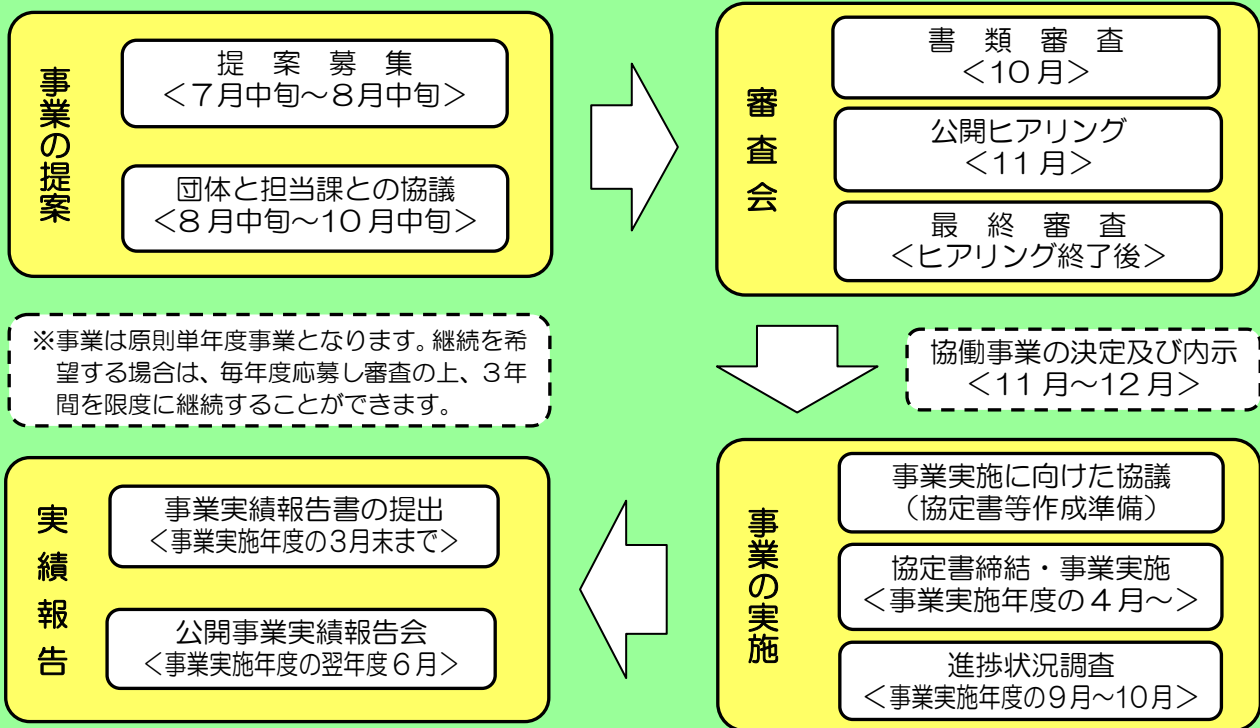
～協働による住みよいまちづくりを目指して～

町では、第5次総合計画の将来都市像を「ひかり、みどり、ゆとり、協働のまち愛川」と定めています。協働をより一層進めるためには、住民と町が協働して取り組むことができる仕組みづくりが必要です。そのため、本年度から協働手法による新たな2つの制度を開始しました。

1 住民提案型協働事業

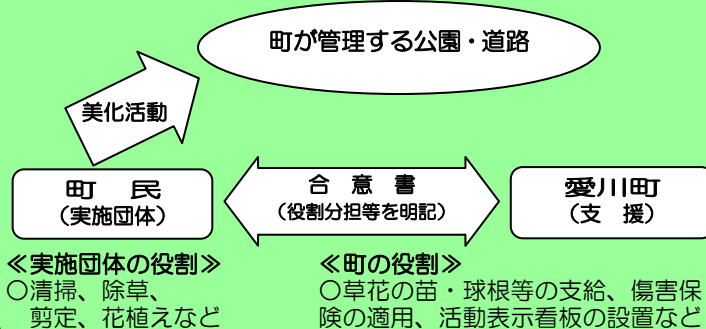
住民提案型協働事業は、公共的な課題に対し、住民活動団体等と町がそれぞれの特性を活かしながら協働して取り組み、より効果的な解決を図ることを目的とした制度です。その仕組みと流れは、下記のとおりです。なお、詳細につきましては、町行政推進課へ問い合わせ又はパンフレット等をご覧ください。

《事業の流れ（平成25年度に提案募集する例）》



2 まち美化アダプト制度

アダプトとは英語で「養子にする」という意味で、地域の住民活動団体が公園や道路など町の身近な公共スペースをわが子のように愛情をもって面倒をみる＝除草や美化活動を行い、町がこれを支援する制度です。今年4月から現在までに、町内で5団体が活動を開始しています。



平成24年度実施団体一覧

	実施団体名	活動の区域
1	大塚壮青会	都市計画道路 桜台小沢線（大塚区内） 中津 1579-4 先 他 1 か所
2	両向高砂会	町道馬場馬渡線 県警半原荘跡北側角地～(株)八木建設までの植樹帯
3	あいかわ自然ネットワーク	町道幣山下平線 八菅山 91-1 先道路管理地
4	宮本花を愛する会	町道久保馬場線 横須賀水道半原水源地東側道路管理地
5	橘麗ボランティアグループ	八菅山いこいの森モニュメント広場（八菅橋西側交差点先）

大塚壮青会、大臣表彰受賞

6月29日に平成24年度環境保全功労者等環境大臣表彰式が開催され、大塚壮青会(梅沢哲男会長)が、地域環境美化功績者表彰を受賞しました。対象となった「大塚ふれあいロード事業」は、平成15年度から19年度にかけ、町民アイデアまちづくり事業として、桜台小沢線沿いの街路樹周辺に花苗の植付けを行い、また歩道に120個の木製特注プランターを設置するなど、町の美化推進を図った事業です。町民アイデアまちづくり事業終了後も、花いっぱい運動と



して美化活動を続け、夏は松葉ぼたん、冬はパンジーに植え替えるなど、通る人々の目を和ませています。活動としては、月に一度、道路周辺の立木の剪定や、花の植え替え、除草作業を実施しており、さらに今年度からは、町の新しい協働事業である「まち美化アダプト制度」の事業として採用され、町との協働による美化活動にも取り組んでいます。

今年で創立20周年の節目を迎える大塚壮青会の今後の更なる活躍が期待されます。



サポセンのホームページ・リニューアル

サポセンのホームページが5月より「かわせみ」という名称でリニューアルしています。今までにない情報、機能を盛り込んでおりますので、皆さまのご利用をお待ちしています。

新しく提供する情報

- ・登録団体情報として情報提供カードで団体の連絡先、目的、活動分野、活動内容などを見ることができます。みんなのサポセンに登場した団体の記事も見ることができます。
- ・助成金情報として町の助成金と今までに登録団体が活用した助成金の情報が一覧で見ることができます。ホームページにリンクも張っております。
- ・サポセン利用方法については、館内マップからクリックすることで詳細を見ることができます。
- ・リンクは、県内のサポートセンターすべてを見ることができます。

新しい機能

- ・「はやせみ」ボタンを付けました。このボタンをクリックすると1週間の更新情報だけを見ることができます。



編集後記

あいかわ町民活動サポートセンターでは、登録団体の連携をメインテーマの一つとして活動しています。テーマ別の懇談会として、一昨年度は環境保全を、昨年度は防災をテーマに開催しました。本年度は、今回の紙面にありますとおり、福祉をテーマに開催します。偶然にも、昨年度検討を行った「協働のあり方に関する提言書」にありました愛川町らしい協働事業を順番に実施しているようです。次年度は特産品がテーマになるかもしれません。今後とも、町民活動サポートセンターの更なる充実に向け、皆様方のご支援ご協力、よろしくお願い致します。(M・W)